萬葉集註釋

巻十七 十八
十九 二十

特別
へ4
5497
5

特
門 へ4
號 5497
卷 5

昭和三十年十月四日購求

萬葉集註釋卷第十五

第十五卷

岡田眞之藏書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

撓襪平生恐見處

面アリ手ヲ入ル。頁兒被也。ちごのうちとすしあげ。

すそ長二尺ス頁兒方背上也

結經方衣水津裡丹絶服頸長者也

見處拾情袂袖長衣服我矣。

しうぶ。衣ものを袖とつる也。丹因る茅行ひ屋三ヶ

飾取ふるもかくおるかと。ふるものうちそこ。

ゐして。うちけうちうち。古那之頁人篠後ふせ堅監

將形遠老人矣。送形車指還者ハ間のみをもちうちと

つて車のうちとつうちうち

墨江之小集樂尔出而寢尔毛已妻尚手鏡登見庫屋

[illegible]云。[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]

興書朱 私勅周處三寺のうち。鶴見とうてのうち。我心いかすと之
勝間田之池者我知蓮無然言君之鬢無如之 帝 鬢イ
うの寺ハ新田郡親王の
情 怜 勝間田の池とうたれの郡陸奥
勝不可得言とのくしうたる。やめのまうすこと新田郡
親王。うたうたる大鬢おいしけるうたさくけのかつ 鬢イ
きうの池いとうたる蓮すう。きくいうたるがひぞうきうたうかう
てうたうたる
うたうたるのてうのうたる
うてうたるのてうたるもうたうきうたうも トイ
うてうたるもうたうたる。郡陸奥伊勢こうけう。

十七

ものうたるのこうきてうたる方伊勢きいうせうたる用うたるみうたう。
うのうたるうたいうたる。ひうたうたるものうきうたうたうたうもあう
ず。ひうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたう
無心所著歌二首
吾妹兒之額尓生双六乃事負乃牛之角上之瘡
吾兄子之犢鼻尓者流都夫礼石之吉野乃山尓氷魚曽懸有 ホイ
うの寺ハ会人親王の家。いうたうたうたうたうたうたうたうたう
うたうたうたうたうたうたうたうたうたう。物とうたうたうたうたう。
うたうたうたう。大会人安信親王の郡陸奥。うたうたうたうたうたう
うたうたうたう。あうたうたう。残うたうたうたうたうたうたうたう
うたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたう

六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうの事

紙あり図

吾門之援実毛利奥百千島千島雑来君尊不来座

吾門尓千島数馬起余起余我一夜妻人尓不知名

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為鹿述痛歌一首

吾角者御笠乃波夜詩

[illegible]

為櫛述痛歌一首

葦鶴[illegible]

毛武尓礼乎[illegible]

[illegible]

第十七卷

海未通女伊射里多久大能於煩保之久都努乃松原於母保由流可聞

[illegible]

家尓底母多田多敷命波乃宇倍尓思之乎礼波敷久香之良受受母

[illegible]

讃三香原新都歌一首

春佐礼播花咲乎理
秋佐礼婆黄葉尓保比
[illegible]波勢流
[illegible]
楢並而伊豆美乃河波乃水緒多要受都可信麻都良年
大宮所

[illegible]年。日本紀第五巻崇神天
皇卿宇武植安彦謀反逆興師登那羅山而軍之時官
軍比衆而蹈跼草木因以号其山曰那羅山蹈跼此云布
更避那羅山而進到輪韓河植安彦狹可比之名相挑焉
故時人改号其河曰挑河今謂泉河訛也

安之比奇能山宿古延底野豆可佐尓今者鳴良武宇具比
須乃許恵

[illegible]

佐尓伊麻佐良武美奈能之波母

安麻射加流比奈尓安流礼平宇多我多毛比母登吉佐気
也敷毛保須良米也

[illegible]

哀傷長逝之交奇須中

多麻保詳紙道辛多橋保美山河紙繁家里底為礼跡

[illegible]

[illegible]

息深粧疾殆臨泉路仍作新須以中悲緒河中

大船乃由久良由久良尓[illegible]

宗良志於[illegible]良尓宗氣根布勢良武

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

更送今須中

之宗射加流方之辛遠徒米尓

[illegible]

今日毛之賞良尓孤悲都、追夢辛流

[illegible]

[illegible]

迷惑絡歌須中

宿彦新知受伊米尓波見礼登

[illegible]

[illegible]

[illegible]

入京漸近恋情雖増述懷新紙中

可使加藤布教多我美病麻尔

義許登毋知多知和可れ乳奈波

みくもりて国内也国の乱ふ宮ゐとも仕国ゐ

てを宮ゐを国の能の茅ゐけくるの手てくるの茅

とるを所也

御奉所心歌紙中

平須久尔能許等登理允知互和可久佐能安由比多互久

利

とすくるに望見国也あひくるあひくるいで

んくるの孤ゐるやくるのとくるの葉

いくるのとくるれくるあひくるれくる

思故逸鷹夢見感悦作歌同中
之麻都菅里郷養我　豊田波

[illegible]

露霜乃秋尓伊多礼婆野毛佐波尓菅里頃太家里菅
[illegible]

[illegible]

矢形尾乃安我大黒尓
[illegible]

[illegible]

私就大黒と云蒼鷹乃名
多夫礼多流之詠都　於吉奈乃
[illegible]

菅乃具安利安未能布流日乎
[illegible]

知波夜夫流神社尓底流鏡之都尓菅里蘇信
[illegible]

都奈之菅流波義乃江過立

[illegible]
知加久 安良浜 伊麻布都可多来
[illegible]
かんさんとつつう
奈孤悲曽余等曽伊麻尓都氣都流
いもとぷのつつ[illegible]
[illegible]
[illegible]
いつもさ
[illegible]
コトタユタヒテ
[illegible]
[illegible]

[illegible]
ひのの野　越中の国
[illegible]
越中の国
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

萬葉集註釋巻第十八巻

[illegible]

安方射可流比奈能都夜故尓安米比度之丁久古非須良波
伊家流思留事安里
この[illegible]二の句より一端はかぶつうつる。比奈能都夜

故尓といふ。都のつよしやうやもの夜故のつよしうあんれ
ミ[illegible]の御宰北流[illegible]ひるのつ[illegible]ぬ
富[illegible]
[illegible]
但一[illegible]子。邪花[illegible]
の[illegible]
[illegible]蘇系連羅志[illegible]
志乃[illegible]書[illegible]
海の[illegible]又これ集[illegible]十六[illegible]能登国[illegible]
延佐婆夫利[illegible]。破の一字。[illegible]して[illegible]
[illegible]夫利の[illegible]書[illegible]。今の歌のやうに又[illegible]邪夜[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

許曾无来可襲里見波勢自許等等太豆

[illegible]中繪り年記中十七 天武天年二十年二月丁巳陸奥蝦夷

芸豆[illegible]見奉都 [illegible] 七道備社及四月甲午天皇幸東

大寺廊廬遮那佛像前勅遣左大臣橘宿禰諸兄宣

命詔中云 又大伴佐伯宿禰波[illegible] 常尔母云久天皇朝廷仕

奉事顕奈伎人等尔阿波波多知祖止母云来相久海

行ば葦都久屋山行ば草根尾王乃幣尔[illegible]能梓尔

波不死止云来来院人等止奈国見頃

[illegible]

等伊夜多豆於元比之麻左流

[illegible]

陸言能左吉乃[illegible]

[illegible]

為鄙奈家顕真珠新田中

珠洲乃安麻能

[illegible]

[illegible]

思良多麻能伊保都[illegible]度比乎年尔年頃批於許世年安麻

波年賀思久毋安院秀

[illegible]

十九 一

橘氏系図中

皇神祖然不見然大御世乃田道間守常世乃和多利
日本紀ニ云ク 垂仁天皇九十年春二月庚子
朔天皇命二田道間守遣二常世国一令求非時香果
菓 橘是也

安田阪実陵多麻尓奴伎都追

あはれみてこそ[イ坊]みつるなれ。

りうさわられも。格のこゝろのいやすくち

の実うたゝ。あはれみてこそ[イ坊]みつるなれ。

し実い[イ坊]のぐくゝ。あくゝ。

阿之比奇能夜麻能[イ坊]能許母利

この歌の書様。毎年こゝ久尓のあくゝ二

こゝ。ゝ。ゝ。

忽見雨雲氣作新詩中

ありびきの山のふもと

山のひとつぐるまもしら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七夕歌中

和多星女理布孫毛麻宇気受浦之太宇毋和多之五安良波

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文政六年　五月夏朝の記之畢

仙見五判

嘉永元年十一月海日以作者仙見伴所力筆如般

人書写年

四十二月一日一校了

玄見校判

第十九卷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

北木在武蔵山又伊豆大島北椙茂賀也之称葉者如常似
椙葉而厚者也

藤霍公島并時花新編中
四月之立者称真母理尔鳥霍公島從古昔可多里都鶯都
流鶯之字都之真字仁母

藤霍公島并花新編中
許紙久礼乃繁縮遇乎年著来尔
めすらしき君とのあらんとこそ
めすらんと者ともしていてきづかくはつ

郭公
郭公
いつしかとまちこそわたれ
いつしかとまちこそわたれ
郭公
郭公
郭公

従京師来贈物何中

義久之宜尓多久波波抜花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

向京路上侯爵預作侍宴庭訓和歌
四市之人年母安天方波受
方イ本
あてうつぶとぶ　うづ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
多聖未稀久　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
うづ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

萬葉集註釋卷第二十

第二十卷

霜上尓安良礼多婆之里伊夜麻之尓安礼波麻為許年年緒奈我久

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安麻呂夫孫波良乙女宇佐王

[illegible]

曽祖父太久毛雄波呂奈波可毛

[illegible]

己波婆久由多氣波可母

[illegible]

[illegible]

見い天平勝寶七歳乙未二月波豆比賣（等麻呂）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
陳防人悉別し情報仰申
平可之依彼伊多年流其等尓
[illegible]
[illegible]
[illegible]

イハノイモロワヲシノ
フラシマユスヒニユス
ヒレヒモノトクラク
モヘハ
ワフレノフラレトハ
状ヲ忍クレヽマユス
ヒニトハマムスヒヽ
イ本

乙上は寺院人等が称の絵ゑんを書とも成い又見給ふ
もあるべきはてかゝる絵ゑも見給ふ。そこの世やうやうて
の業。おそらくあそこん人のゆるぶ屋をそこ。又ふるさ
もみそこぐ。ぼ雑説
ゆゑ。ぼくあんものぼやさそ。
ぼくそ。ぼくもしるぼ。ぼくの世
り所。おれこのの内すまれて氏集ぼん。
そこぐめそこ屋こ。そこあるすこと。ぐに
こて。そこかこて書ぐめ作ふる。ふこの作せで
こもて。亜の作ふ。器ぐ作の作ふこ。氏様ふ屋の
ゆこひるこもふ。ちるこやぐふ。あこ屋ふこや

ふこふこぐぼこのふこと切ふぐふこといぼおこふ
ふふふこぼ。ぼのふぼむふ屋ふこふこふこふ
おこふこ。ふれこおふこいぼ。ぼこここかるきこふ
かここのいこふぐみむふふかるきこふいここあふる
かここのふぼまこ屋ぼふちこふこぼゆこふ屋せぼ。ぼこ
ふこまぐこいこふあぐふこふ。箭こいゆこて。ふこふこてき
ふぼこのぐこふれふこふこやふくいこふこふこふや
こかこよこふこふこふ(かこふこまこせふこふこふ
ふこかこふ。ふこふこ
こふ屋ふこふこふかこふこふこいかこふこ。ふ屋ふこふこふを
こふこふ。ふ。ふ。

難カリキイ坊

アリト云トモ後ノ代ニ必ズコノ品ノ好イ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多可知保乃多気乎阿毛理之ゝ
毎ゝ乃ゝけ八日向国ゝあり阿毛理之ゝ
尊離天磐座排天八重雲稜威之道別ゝ而天降於日向之高
千穂二上之峰時天晴風畫夜不別人物失道物色雖別於茲有土蜘
蛛名曰大鉏小鉏二人奏言皇孫尊以尊御手接稲千穂為粮授
散四方得開晴千時如大鉏苅所奏撮千穂稲為粮授散即天
開晴日月照光国内平千穂二上峰後人改号知鉾已上
於保久米能麻須良多祁辛ゝ佐吉尓多豆由伎登利於保世
萬多親王姓字録十二巻右京神別中天神大伴宿祢高皇産
灵尊五世孫天穂日命之後也初天孫彦火瓊ゝ杵尊神駕之降
也天穂日命大来目部立於御前降平日向高千穂峰然後以大

来目部為天鞬負部勲負部之号記於此也
ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

萬葉集註釋卷第二十卷終

孝云坂士佛ノ父
二十佛トスアソコ
ノ人ナルヘシ根葉
拾葉ノ系図坂士
佛ノ條ニ見ヘシ

イ本

寛永庚午之仲春於江府之仕暇書寫畢五月初三之日畢功了

右寺川氏校魚所蔵但自巻三至巻八欠本也

塙本

文永六年歳次己巳夏二月於武蔵国比企郡北方麻師宇御政所註之了

権律師仙覚在判

建治元年十二月二日以作者仙覚律師自筆本撰金書寫訖

玄覚在判

右仙覚之本如系図今相傳又童蒙分書入之更不可有麁本雖為一詞能〻可情須如眼壽不可説云云　十佛判

右仙覚塙氏所蔵也全部十巻巻一巻二巻三本脱巻三巻四巻四本脱巻五巻六巻七巻八巻九本脱巻十巻十一本脱巻十二巻十三巻十四巻十五巻十六巻十七巻十八巻十九巻二十

以上友人木村氏以イ本及塙本校之今就其本記因奥

安政五年十一月

岡本保孝藏